

あなたは、邑南町らしい教育とは、どのような教育だと思いますか？（自由記述）
地域一体となった教育。昔の人から学べること、昔の人に教えてあげられることを互いにし合うこと
子どもたちの自立心を高める教育
美しい環境の中で高い知性を身につける
スマホでゲームに興じる時間が多くお互いの繋がりを大事にする考えが希薄しているように思う。地域との繋がりを蜜にして心豊かな子どもたちを育てていけたらいいと思う。
食育 給食は、毎食米にする等
校外学習は広島もエリアに入れて工場見学をしたり、町内では自然の中で過ごしたり、地域の方とかわりながら農業や産業にふれてほしい。
邑南町民であること、邑南町が好きな子どもの育成
邑南町らしいというのがあまりに抽象的過ぎて何を指すのか分かりにくい、この邑南町とはこんな町であった、暮らしていた人達はこんな人達だったという遺言めいたものを残しておく事が大切な事であると思う。それには住み暮らす方が自分の住んでいる地域の歴史やどんな想いで暮らして来たのか。というのを知り発信していく事が大切だと思う。
邑南町に住むことを誇りに思えること。
食育、無形文化財、戦争・被爆の話
ふるさと教育は、田舎ならではの良い発想だと思いますが、それにはまず、山や川の整備や、近くで子ども達が自然に自然の中で過ごせる環境を整備することからではないでしょうか？また地域の行事も本当に伝統として残していまいものを厳選して、再構築する必要があるのではないのでしょうか？
教育委員会に力をつけ、教育の目的を強く発信できる
未来を考える必要があります。 いま10代の子どもたちが大人になった時には 今の大人が想像する世界とは全く異なります。なので普通に想像できるようなことはあまり意味をなさないと思います。
例えば、邑南町で教育を受けたら ・英語を話せるようになる ・どこか外国を訪問できる ・世界で通用するビジネス基礎を学べる ・自分の好きなことに没頭できる
エリート教育ではありますが ある条件をクリアしたら参加できる プログラムを作る。そのプログラムに参加した子どもたちが新たな価値観を学んで全体をリードしていく力を身につけていき周りをより良くしていくと思います。
これは素敵だなと思う教育プログラム開発が 人の目を惹くと思います。
邑南町には起業家含め、チャレンジしている大人たちがたくさんいます。歴史文化もあります。ハンザケなどの自然・生物も多様です。特に歴史的には、たたら製鉄を通じて土壌を切り開き、農業や工業、商業が発展した町です。産業が廃れても教育に投じた人間がいることで、今の教育があると考えます。きれいな言葉でなんとなく耳心地の良い言葉で行われる教育ではなく、泥臭く、熱を持ってどんな子供たちに育てたいか、そのために大人はどうあるべきかを考え、人づくりとまちづくりが一体となる、そんな教育を作っていきたいと思います。
邑南町らしい大人を育てる教育？
大人になりどこにいても、邑南町のコマーシャルができる人間を育てるような教育。
身近に学べる自然が多いこと、野菜やお米についての学習（食育）
男女はともに話し合い これは男の仕事 これは女の仕事 と決めつけることがないように これからの時代の人にはフェアであることを教育してもらいたいです
まずは普通の学校教育ができる体制を整えてから地位独自の教育を考えるべき。学校が分散しすぎてマンパワーが不足する中、無いものねだりをしても仕方ない。

あなたは、邑南町らしい教育とは、どのような教育だと思いますか？（自由記述）
食育も必要だが、食農教育が何とかならないか。（農業体験を通じて食べ物を作る喜びを教える）
のびのび
先述したように、様々な形の学校（中規模小規模）を選択できるようにして、その地域のよき、学校のよきがいかなるような教育。それがひいては子どもたちのよきを引き出せるように感じている。
自然豊かな地域なので、ふるさと教育は必要だが、学力の方もおろそかにしてほしくない。
子どもらしい温かい心をもった、そして自然豊かな地域で様々な体験をする中で、自分で考えて行動できる子どもを育ててほしい。
邑南町らしい教育と言う発想は不要。
旧村12地域のふるさと教育を大切にしてもらいたい
故郷に留まりたいと思えるような教育。
地域資源を活用した教育
ふるさとを愛する教育
自分の地区に思い入れを持つことができる教育になれば良いなと思います。
まだ見えていない？（私が理解する場に出会っていないのかもしれませんが・・・）のが正直なところです。
新しい技術やツールを邑南町の地域資源にどう活用するか？実践現場であり、チャレンジを後押しをするような場
きれいごとではなく、
義務教育の話であるならば、「らしき」などの理想論は二の次であるべき。はるか昔、阿須那小学校では毎朝2kmのランニング（田本一周）をしていたおかげで児童の身体能力が高かった。通常事務処理の爆増と安全管理の厳密化、働き方改革で教員はもはや対応できず、対応するべきとも思わない。「らしき」には多大なコストがかかるため、とりあえずそれはふるさと教育などで適度に行い、まず基本的な学習環境の整備に注力してほしい（←できていないように思う）。
地域の高齢者と子供たちがたくさん触れ合うことで地域の事を深く知る教育
スーパーで販売されている食料ができるまでを観察できる。（都会では味わえないと思います。）自然を体感できる。
○町内で学び育つ子どもたちが、発達段階に応じて『師』と仰ぐ大人が複数名居る町の教育 ・学校の先生 ・地域の大人=地域学校の指導者、公民館職員 ○町内に『仲間』が居る関係を築く教育 ・先輩、同年代、下級生
地域住民とふれ合いながら、地域の良さを学習できる場
地域の歴史、産業、職業、特産などを学ぶ（他市町に誇れるものがよい）
豊かな自然を活用し、子どもたちの自主性を育む教育から創造力が生まれて、学力向上へと繋がっていくことを期待したい
邑南町という地域が持つ価値を活かす発想の転換が必要。それに関する体験を通して子供達の中に地域への誇りを育む。
自然豊かな環境を活かす。顔なじみの関係を大切にし、家族以外の地域の人に見守りをされている安心感を与える。学力の向上だけでなく、人とつながり、自分で考えて行動できる、「生き力をつける」こと。
自然との関わりやふれあいが多い
石見、瑞穂、羽須美といった地域の勉強、自分の住む地域のことを知ることが、子どもたちの邑南町、それぞれの地域への愛着を高めることにつながっていると思います。
風通しの良い教育。
安心、安全、死亡事故のない、教訓を生かす、教育、現場。
自然環境を活かした知識(川の学習等)を与え、活力がある自立心を育み、歴史の繋がりを感じて邑南町を紡いでいく意識を持てる人を育てる教育
自然に恵まれた環境を使い、お年寄りや企業と一緒に体験できる所。

あなたは、邑南町らしい教育とは、どのような教育だと思いますか？（自由記述）
とても素晴らしい自然がたくさんあるので、一緒にお米やお野菜を作ったり、この自然を大切にしていける教育だと思います
そのような無駄（無理）な取り組みはしなくてよい
地域文化を大切にし、自然の中で育つことのできる教育
自然や地域について学べる場所
社会人になっても、生まれ育った学校生活や故郷を懐かしく、誇りに感じるとともに協調性があり、強い心を持った人格にて育てて欲しいと思います。
学力が出来ても出来なくても明るい元気な子供の育成
人や自然を大切にする。心身ともに逞しい体を創る。
地域を大事にし、切り離さない教育
少人数だからこそできる 個の力を伸ばすことです。
らしさを考えないといけないのか？ 邑南町のいいところを教えればいいのか？ それができれば、将来邑南町に関わる大人になるのではないか。
以前邑南町の教育を進めるスローガンとして「世界にはばたく子どもを育てる教育」といったことがあったように思いますが、その成果等検証」されたうえで今回の検討委員会も開催されているのでしょうか。検証の結果から良かった点を伸ばす教育をすすめていただきたいです。特に個人の学力が向上するような教育をすすめてください。 検討委員会からの課題2件から、地域への丸投げ、学校の責任のがれの様な気がいたします。

あなたが今後の邑南町の学校の在り方について、期待することやご意見を自由にお書きください。 (自由記述)
保育所とも連携をし、目標目的に対して見通しを持った教育を行えるようにしてほしい
児童生徒と親御さんの意見を優先的に考えた学校の在り方が大切だと思う
学校の再編は少なからず必要だと思います。
ただ、規模を追うだけではなく、地域の実情に合った対応は必要だと思います。
もし、小学校を統合するなら、各地域（石見、瑞穂、羽須美）に一つずつの統合にしてほしい。
今後少人数学校ばかりとなり教育水準の低下が起こり得るし地域によっては子どもたちの声が聞こえなくなる寂しさもあると思うがお互いのいい意味での競争力もつくし教員等の不足もいるので合理化もやむを得ないと思う。
地域にあることを目指してほしい。 中学校に上がるとどうしても、他所から来たとなってしまう。せめて小学校の間だけでも、家族のような学校生活をさせてほしい。 地域のおじいちゃんおぎあちゃんの顔を覚えて、登下校に出会えば、挨拶をするそれだけでも町とは違う良さがある。
学校の再編を進めて、廃校となった学校を不登校特例校とすること。誰もが学びやすい環境を町として整えることを期待している。
子どもの出生率が下がる中で、学校の統合は必要不可欠です。早急な判断が必要と考えます。
とりあえず、中学校は石見中学校、羽須美小中学校（羽須美中、阿須那小、口羽小）瑞穂中は老朽化の為廃校。 小学校単体は、瑞穂、矢上のみ。いずれ公的機関、公民館や診療所、自治会館などの機能も集約する。またそこには買い物機能、乗合タクシー乗り場などの機能も集約。人口が増えて来た時代、様々な機能が分散しコミュニティもそれぞれ独立し、役も増えた。これからは集約させる時代になる。
地域と連携することはいろいろな壁は有るかもしれないが、職員の役割を明確にして子ども最優先の学校経営であってほしい。
現在の学校は多いけど予算がなく不十分な環境で学ぶより合併してそれぞれの学校で学んでいた特色を残し色々なことに予算を使えるような学校になることを望みます
小学校では、あまり多くのことを学ばせようとせず、基礎学力、理解力を高める教育をして、中学校ではそれを更に深めて、高等学校では、想像力、構成員力、発想力を高める教育と段階を経て、最終的に、大学、社会までのスパンで考えた方がいいと考えます。
安心していける学校
地方に行けば行くほど、色んなことにおける機会格差があると思います。そういった格差がある実態を深く考えて実行に移してほしいです。学校にはお金がないが付き物なのですがその状況を無くして投資をすることで教育環境が向上して、外部の人材を有償で雇えたりもすると思います。そういった所に邑南町は力を入れると他の市町村との差別化を図れるでしょう。住民は色んなバックボーンを持っている人がいると思います。そういった様々な技術が学校教育の中に活かされないままになっています。それは学校に予算が無いため無償（に近い形）で人を使うという流れが主流になっているからだだと思います。
残すか、残さないかの二者択一ではなく、第三の道も模索する必要がある。例えばN高のようなオンラインスクールの台頭、その場合キャンパス制を取り、今の校舎は残りながら、大人も子供も様々なキャンパスに行き、学びを選んでいくということも可能である。残す・残さないではない新たな選択を模索する町であってほしい。
単式の学級が形成できる学校が望ましい。
デジタル教育をしっかりしてほしい デジタル テラシー など
生徒数が少なすぎて、社会性や集団でね学習に不向きどころか不適切である。特に学年に1人2人という状況はすぐに解消してほしい。
子どもと地域が親しく接する体制
ある程度の学級規模（クラス替えがあるレベル）と、少人数でいたい子（家庭）たちを受け入れる規模と少し選べるといいと思います。前者では、邑南町のためにも、多くの人たちと関わる中で人間関係を深め、臆せず様々なことに取り組める子どもを育ててほしい。
一学級の人数が多い学校、小規模で一人ひとりを大切にできる学校、いろんな形があり、保護者が選択できるとよいと感じる。

<p>あなたが今後の邑南町の学校の在り方について、期待することやご意見を自由にお書きください。 (自由記述)</p>
<p>複式学級の学校では、学ぶべき学習がきちんとできているのか非常に心配である。学力テストで上位の県では、どのような指導をしているのか、島根県と何が違うのか、教育委員会も先生方も今一度、研修する必要があると感じる。</p>
<p>適正規模での学習指導力の向上を図り 子どもたちの学力や考える力を高めてほしい。</p>
<p>学校を統合し、ある程度の人数の中で学ぶ環境が必要。子どもたちは、やがて社会の一員としてたくさんの人の中で生きていくことが求められる。自律と協働の心、力を養う必要がある。今の少人数の学校の良さもあると思うが、それよりもある程度の人数の中で学ぶことの方がメリットは大きいと思う。</p>
<p>どの地域にも小学校があることはいいとおもいますが自分の出身校がずっと残ってほしいと言う想いはありますが、現に少子化で子どもが減っている地域がほとんどなので地域ごとに学校存続と言っている場合じゃないと思っています。瑞穂地域で学校1校とか全然ありだと思っています。子どもがある程度人数いたほうがその中で学べることだってあります。校区と言う区分もこの少子化で、なくてもいいのかとも思います。選択できる小学校選びもありかとも思います。大人数で学びたい子は人数の多い学校へ。大人数が苦手な子はもう1つの学校へというのでもいいのかとも思います。</p>
<p>邑南町の学校の在り方と言う考えは不要。子供たちが自由で伸び伸びと成長してくれれば良い。</p>
<p>児童、生徒数の経過から学校規模を。中学校単位での小学校も併せて考える時期だと感じる。</p>
<p>いじめや差別のない学校</p>
<p>自分の家族がPTAの役員になりかけた時、そのようなことなら行事に自分の子供は参加させないなどと言うような教員は要らない。</p>
<p>中学校は1校に 校舎は瑞穂中学校に 石見中学校は小学校に</p>
<p>小学校は統合がすることが望ましいと考える。少人数では学びたいことが学べない場合がある。地域に学校がないといけなると考えるのは大人のエゴに感じる。 多様な人との交わりで身につけるコミュニケーション能力や、社会に出たら必ず必要となる競争力を身につけることは幼い内からすることが効果的だと思う。学校と家庭と地域が連携し合っ心も体も強い人間を育ててほしい。</p>
<p>統廃合を進めていくべきだと思う。</p>
<p>地域に学校を残しつつ、学校の規模を維持するためには義務教育学校が適していると考えています。</p>
<p>子どもにとって最善の環境は何なのかをしっかりと協議をしてもらいたい。</p>
<p>ふるさと教育において最も重要な事は現地での活動や学び(フィールドワーク)だと思うので、学校の統廃合を行ったとしても地区でのフィールドワークは継続してもらいたい。(矢上小学校に統合しても日貫、日和でのフィールドワークを行うなど) それができないようなら「学校でのふるさと教育は統合先の学校のある地区でしか行わないので、それ以外の地区は地域でふるさと教育を行ってください」と明言してもらいたい。</p>
<p>①一人ひとりのいいところを見出していただき、これからの長い人生、一人ひとりが自分に自信が持てて、自分を好きでいれて、他者も認められる・・・そんな教育を邑南町上げて取り組んでいただくことが一番の望みです。また、それを町外に「売り」としてPRしていけば少しはあの町で子育てしたいと思っただけなのではないかな?とったりしています(窓際のトットちゃんに登場していた「何とか先生」のような先生がどこかにおられないかな?と淡い期待を持ちながら・・・) ②先生たちの教育に対する熱い(?)思いを地域の住民も聞ける場があるといいなと思います。</p>
<p>箱としての学校の在り方の検討も必要だと思っている、今の学校の更新ではなく、産直や公民館の施設更新時に複合的機能を設けたり、既存施設を学校として使用する方法があるのではないかなと思う。箱としての学校ではなく、オンラインや公民館、町施設の空きスペースなどの活用して、学校機能を設けてもよいのかなと思う。教職員の人材不足、負担があるのであれば、地域の人にとって敷居が高い学校に行くのではなく、よく行く施設、場所に子ども達がいる環境になってもよいのかなと思いました。</p>

<p>あなたが今後の邑南町の学校の在り方について、期待することやご意見を自由にお書きください。 (自由記述)</p>
<p>地元で育った子どもが地元根付く教育</p> <p>学校はまず第一に児童生徒の学力や社会性を向上させる場であり、地域振興のツールではない。1つの学年でミニバスチームを2つ以上編成できない規模では、ほかの場面でも満足に経験できないことが多い。1クラス15～20人前後が最もまとまりよく目も行き届くと感じる。超小規模校のメリットがゼロとは言わないが、複式学級などのデメリットに目をつぶるべきではない。規模が小さければ専科どころか事務員、養護教諭、教頭も配置されない。また、安易に超小規模校を選択肢として残すような決定をして、必要な維持管理もできないのでは完全に一部の大人の自己満足。理想論よりSDGsで。</p>
<p>子どもたちのために町全体が真摯に考え、改善している姿勢は素晴らしいものです。児童の減少に伴い、少数の学校は合併し、児童一人当たりにかかる費用の質を上げていくのも必要と考えますが、子どもたちの通学等の負担にならないようになってほしいです。</p>
<p>小学生だけでなく中学生もいっしょに地域の行事に参加することで、将来邑南町に帰りたいと思ってもらえるようになってもらいたいし、それが地域の活性化にもつながるのではないかと思います。</p>
<p>邑南町ならではの特性を生かした学習ができればよいと思います。(自然、農業など)</p>
<p>○社会に開かれた教育課程の計画・実践・評価を通して、学校職員・保護者・地域住民が同じ視点で継続的に協議して取り組む組織づくりを町全体で(段階的に)</p> <p>○町内で育つ子どもたちが、互いに『憧れ』と『愛しむ』を持った関係に育てほしい</p> <p>保小、小中、中高、保高、保中、小高など</p>
<p>ふるさと教育を充実させ、地域住民とのふれ合いの機会を増やし、邑南町に愛着を持った人材を育ててほしい。少人数のほうがふるさと教育に適しているという意見もあるが、教職員にその意識が希薄なことが課題であり、少数のふるさと教育適任者が効率的に指導できる体制としても多人数化や統廃合もやむを得ないと思う。世界に羽ばたく人材育成も必要だが、義務教育では地域愛を持つ人材育成が最優先だと考える。</p>
<p>地域行事を学習の一環として授業に取り入れることができるといいですね(子どもと住民と一緒に授業)</p>
<p>学校だけでなく、保育所との連携を強めていく必要があるのではないかと?</p>
<p>少人数制の中で不足すると思われる経験を学校の統廃合によって保障していくことは必要</p>
<p>子ども達が自ら考えて行動する力を伸ばしてほしい。</p>
<p>少子化が進む中で、学校教育の質の向上も必要としているが、多人数で行う行事や授業などから得られる集団の中での気づきや学び、人との協調性など多人数ならではの教育があると思います。大人になるにつれ大きな集団で生活していくわけですが、急に大きな集団に入る事が、難しい子供もいると思います。そういった側面からも教育は考えていく必要があると思います。こんな事は皆さん思われていることでしょうか、今さらなんですけど、地域にとって学校は重要かもしれません、学校はだれのものなのかと考えてしまいます。</p>
<p>集団の中で多様な価値観を理解し、折り合いをつけて自分の居場所をつくる力を育ててほしい。集約し、校舎を新設することで、今のニーズに合う環境を整えてほしい。学校と児童クラブを一体的に連携できる体制にして欲しい。</p>
<p>他地域の学校との交流が、もう少しあればいいと思う。</p>
<p>ふるさと教育として、羽須美地域のことはしっかり勉強していると思いますが、邑南町全体のことについて学ぶ機会が少ないように思います。</p>
<p>統合も必要だと思う。予算や行事の運営上。</p>
<p>バスの大きさをタクシーくらいにいただき、山奥のバス路線ではない、小、中学生の家庭の子供を送迎できる仕組みにして欲しい。</p>
<p>島根県で学んでいることの意味を深く考えて欲しい。都市部の大規模な学校では人間力が大きく育たないと思う。</p>
<p>ある程度学校を統廃合してまとめて、競争心を持たせたり、人数が足りず、さまざまな活動が制限される事などない学校にしてほしい。</p> <p>都会の子とは、あきらかに目にするものが少ない為に格差を感じる。</p>

<p>あなたが今後の邑南町の学校の在り方について、期待することやご意見を自由にお書きください。 (自由記述)</p>
<p>学校に行きづらい子(発達障害の子も含め)が増えてきていると感じています。その子達が行けるようなスクールがあって欲しいです。 出雲にそのようなスクールがあります。 前島由美さんという方が中心になって子供達の居場所を作ったりされています。</p>
<p><b>学習機会の平等性の担保</b></p>
<p>小学校をできるだけ残し、外部からの流入に頼るだけでなく、今事業をなされていることは存じておりますが、より一層のUターンによる家族連れ増加を期待するとともに、各地域の統廃合を進めるのでなく、地域全てを満遍なく大きくできることを期待しております。</p>
<p>地域の学校という意識も大切だが、子ども同士の学びがよりよいものになるには、ある程度人数が必要だと思う。学校再編は考えるべきだと思う。子どもにとって良い教育環境はどんなものかという視点で考えることが大切だと思う。また、古い校舎もあるので、改築も検討してほしい。</p>
<p>小学校では、子供たちの個性、長所をより引き出せる様に子供に寄り添った教育環境を期待しています。 中学校では、将来、自分の進路、職業を選択して行く為の幅広い多彩な知識に触れる機会を多く経験して欲しい。</p>
<p><b>子供が少なくなる中石見にあるたけのこ学級もしくは少人数学級を置き維持はしてほしい</b></p>
<p>あまりにも児童数が減り学級としてなりたつのか、疑問です。児童の学力やコミュニケーションに問題は無いのか心配です。</p>
<p>現在、我が子は小学生です。確かに、大人数の中で教育を受けることは大事だと思うし、遅かれ早かれ中学校、高校などで大人数で学校生活を送ることは必然になってくる。しかし、地域から子どもたちの声が消えるのは看過できない。自分の住んでいる場所で学校生活を送るなどということである。 少なくても、何がいけないのかをまず示してもらいたい。この検討の発起人は大人数の学校を卒業したのではないかと考えています。 統合となっても、どうしても矢上や瑞穂という議論になってくる。少ないほうが、多い方に巻かれるというのはどうにも納得いかないし、邑南町の人口が矢上や中野、田所や出羽等に偏りすぎているのがそもそもの原因だと思う。それは町の責任であり、その犠牲に子どもたちがあうことは憤りを感じる。統廃合の議論の前に、それぞれの地区の人口増のために雇用や住まいの確保をすべきではないかと思う。東京一極集中のミニマム版が邑南町でも起きている。</p>
<p>地域に小学校が無くなると、子育て世代が少なくなり、地域の衰退が進む最大の要因だと思います。小学校の維持費が課題だと思いますが、例えば公民館を学校と同じ建物にするとかなど、部門を超えた協議により、行政支援が必要なものの整理により、費用の捻出をするべきだと思います。</p>
<p><b>統合することを期待します</b></p>
<p>子どもの数が少なくなることで学校の再編はやむを得ないことであるが、地域に学校がなくなるとはさみしいことです。今後は使用されなくなった学校建物を有効活用するなど検討してほしいです。トレーニングルームにする、月に一度集まるホッとステーションにする等楽しいことを考えたいですね</p>
<p>地域の中にある学校、子どもであり、地域と学校が一体となり子どもの育ちを支えるとともに地域の活性化につながるような学校の在り方を期待します。</p>
<p>学校(教育委員会)村ではないか? 閉ざされた雰囲気を感じる。 ある程度の規模にして、ある程度の人数の中で生きる力を育てて欲しい。</p>
<p>小規模校が廃校のされることには、反対いたします。特に小学生については、遠方の学校に行くことは体力的にも負担が多いと思います。マンツーマンで授業を受けるので、それぞれ個性にあった学力をつけることができます。また、1人ひとりがリーダーとしての自覚を持つ利点があると思います。</p>
<p>石見中を新しくして、中学校は石見と羽須美 小学校は瑞穂、石見、羽須美にしようとしていると感じてしまう。教育現場は地元の良さを教えているのに、親は都市部へ行かせるのは非常に残念</p>

あなたが今後の邑南町の学校の在り方について、期待することやご意見を自由にお書きください。  
(自由記述)

小学校から20人以上のクラスが2以上あるような環境で、多様な人間関係上のトラブルをできるだけ小さいうちから、小さなトラブルから経験させることで、その後の進学先でも人と関わりながら生きていけるような力を育めること。それによって不登校や学校にいけずらくなる、社会に出たあと仕事に行きづらくなるといった事を防げると思います。邑南町は町全体の人数に比べて不登校になる子の数が多いと思います。少人数の間はよくても、中学校高校と規模が大きくなった時に順応できなくなる子も多い印象です。また、一度行けなくなると、学力がどんどん追いつけなくなってさらに行きづらくなり、結果的に学ぶ機会や成長する機会が奪われるといった事がたくさんの子供たちに起きています。そういった子たちが学ぶ機会を奪われないように、各地域には、フリースクールがあればいいなと思います。

あなたは地域の一員として、学校教育にどのように関わっていきたいと考えていますか？子どもたちに何をしてあげたいですか？（自由記述）
子どもと関わる場を多く設けてもらい、色々な活動や経験をさせてあげたい。大人数で遊ぶことなど
地域学校等の行事への参加
地域の学校のサポーターとしてお手伝い如果能したら。
知性と思慮を身につける
地域の歴史を伝えたい
先生の行動が理解できない事がある
子どもたちの見本となり、楽しい日ももがき苦しむ日もどちらもしあわせな日常であることを伝えていく
学校は先生達も大変なので、先生じゃないといけない事以外は地域でやるのが良いと思う。先生も少なくなるし、サラリーマン先生も増えるので
周りの環境整備、部活動、郷土学習などは地域で担う。
安心して通える学校
気軽にボランティアとして、授業や美化活動に参加できるようなシステムがあるといいと思います。
逆に何をしたい？
子ども達に多くの選択肢を渡してあげることが何よりも重要です。これまでしてこなかったこと。これまでは考えもしなかったことを選択肢として子ども達に渡してあげることが良いと思います。
私は高校のコーディネーターなので、地域の資源を学校の教育課程の中にどう組み込むのかを普段の仕事としており、カリキュラムを作ったり、教材を作っています。地域の中で、子供も大人も学ぶことができる場づくり（教員研修も含め）をしていきたいなと思います。
学校では負担が大きいことを地域で担えるように関わっていききたい
必要があれば子どもたちと一緒に授業に関わる。
これから 大人になると 男の子も お料理をする時代なので 料理教室 があれば 手伝いに行きます
子どもが何かを体験していくために必要な協力組織の育成
地域の良さを知る、地域を知るという学習のところ（総合？）は、先生方と協力しながら私たちが関われる大きな分野だと思います。
子どもたちが自分を大切に、周りの人のことも大切にできる人になれるよう関わっていききたい。
特技とする習字があるので、書き初めなどのお手伝い如果能したらと思う。
ボランティア等、地域の一員として子どもたちを見守っていききたい。
特に関わっていききたいとは思わない。子供たちには子供たちが成長して行く段階に応じて明るく伸び伸びと成長して行くように、自分の思う事を伝えて、注意したり、褒めたりして真っ直ぐ伸びるように接したい。
必要なことがあれば積極的に。逆に学校側は何を求めておられるか知りたい。
ふるさと学習、昔の市木の歴史、郷土研究について調べたことを伝える
農作業などを一緒にしたい。
日頃の見守りとふるさと教育や体験活動への協力
安全パトロール
子どもたちが地域で発表、活躍できる場づくりができれば地区に学校が無くなっても子どもたちの賑わいは継続できると思う。
地域のおばちゃん的なフレンドリーな存在でありたいと思っています。
言ってくれたら何でも。ただよくある草刈りなど環境整備だけでなく、子ども達が楽しみながら主体的に考えるような場や内容を提供できればと思います。
地域と他地域の両方を話していききたい。その上で生まれ育った地域の魅力が伝わったらいいなあと思います。
直接関わる機会はなかなかない。このようなアンケートがあれば、また回答したい。
直接関わることは難しいですが、学校教育設備等の改善に町の予算を使っただけであれば少し関わっていることになるのかなと考えます。
○学校教育と地域の教育力のソーシャルボンド的役割として
○地域の大人の中にいる子どもの育ちを支えるサポーターの一員として

あなたは地域の一員として、学校教育にどのように関わっていきたいと考えていますか？子どもたちに何をしてあげたいですか？（自由記述）
地元民としての自分の体験や意識を伝える役割を果たしたい。
できることがあれば協力する
物語の世界を楽しんでもらえる活動を継続したい
安全な登下校の見守り活動
子どもたちの気持ちをよく聞いてあげたい。
地元の歴史を学ぶ事で世代の繋がりを実感でき、日本人としての誇りを持てるようにしてあげたい。
交通ルールを教える。
話を聞いてあげたりご飯を作ったり面倒を見ることはしたい。
昨日小学校にお邪魔する機会があり、とても楽しく、子供達の笑顔はかけがえのないものだと再認識いたしました。子供達の笑顔を守るため今の子供達の流行興味を調べて、年代を超えて楽しめるような活動をできるといいですね。
具体的なことは思いつきませんが、自分にできることは協力したい。
地域の歴史や成り立ち、素晴らしさを少しでも伝えておいてあげたい。
地区民と子供達との交流、親がいくら思っても、都会にそぐわない子供の育成見つめての元気ある、手助け協力など
絵本の読み語りなど
すでに、運動会などの行事は50年以上前から、地域と合同で行われているなど、様々な行事に子どもたちと自然に関わっています。 小学校があれば自然と関わり、子どもたちも中高でよその地域に行っても、各行事に自然と関わっています。
子どもたちが希望することは何なのか、幅広い年齢層なのでわかりません。誰でもそうですが、自分自身が生活をする上で身につけてことは伝えることができると思います
意識して関わらないといけないのだろうか？ こうした問いが必要なことが課題ではないか？
平成16年合併時より教育関係の委員として、また地域においてふるさと教育の伝え人として学校の外からボランティアを行ってきたように思っております。 私も高齢者ではありますが、地域のことを伝える人が段々と少なくなっています。少人数の子どもさんであるからこそ、この地域の良さを知って必ずまた郷土に帰ってくれる子どもさんを育てる教育をしてくださる学校に、私にできるお手伝いをさせていただきたいと思います。
仕事の楽しさ、厳しさ 地元に残っている意味、誇りを伝える場があれば喜んでお手伝いします。
学校生活が順調な子もそうでない子も平等に、子どもたちの将来の可能性を広げてあげたい。そのための学力も含めた能力を育てあげたい。それには自分が何ができるのか具体的にはわかりません。